

Arikuni, T., Sakai, M., Hamada, I.,  
and Kubota, K.

第3回 日本神経科学学会(1980)  
Neurosci. Lett. Suppl. (1980)

- 4) Visually activated neurons of monkeys  
and Substantia innominata self-stimu-  
lation.

Kubota, K., and Noda, T.

第3回 日本神経科学学会(1980)  
Neurosci. Lett. Suppl. 4 (1980)

- 5) Monkey prefrontal-premotor neurons  
in a visual task: Their intracellular  
activity and morphology.

Sakai, M. and Hamada, I.

第3回 日本神経科学学会(1980)  
Neurosci. Lett. Suppl. 4 (1980)

- 6) Prefrontal neuron activities during  
spatial delayed response and color  
discrimination with delay.

Funahashi, S. and Kubota, K.

運動反応に関係したサル前頭前野ニューロン  
活動

第57回 日本生理学会大会(1980)

予稿集 P. 127

- 7) Morphology of physiologically identi-  
fied monkey pyramidal tract neurons  
and axon conduction velocity.

Hamada, I. and Sakai, M.

サルの運動野錐体路細胞の形態と軸索伝導速  
度

第57回 日本生理学会大会(1980)

予稿集 P. 127

## 研究報告集

1. 久保田 競(1979): 行動と脳の生理学, 神  
経科学の進歩, 第20回日本医学会総会誌,  
1979, 619-623。
2. 久保田 競(1979): 行動と脳の生理学,  
第20回日本医学会総会学術講演要旨  
(1979年4月7.8.9日)東京, P. 29
3. 久保田 競(1980): 脳を創る(1): 工学者の  
夢(中野 肇)序, (コンファレンス・ディ  
ナー研究集会), 生体の科学 第31巻 第1号,  
昭和55年2月15日発行(198), 医学書院  
P. 91-102。

4. 久保田 競(1980): 随意(筋)運動の脳内  
コントロール・メカニズムについて — 最近  
の知見より考える —, 創立10周年記念研究  
特集「近代科学の動向」 脳の機能と人間の  
行動 Vol. II, No. 1 ~ V, 1980, P. 1 ~ 15  
研究開発財団専門研究委員会。

## 心理研究部門

室伏靖子・浅野俊夫

小嶋祥三・松澤哲郎

## 研究概要

- 1) 大脳半球機能の行動統制における非対称性

室 伏 靖 子

前年度にひきつづき, 切断脳のアカゲザルを用  
いて, 水平・垂直の条件性継時弁別般化場面にお  
ける左右両半球の機能差が調べられた。

- 2) ニホンザルにおける認知の発達

室伏靖子・松澤哲郎

出生直後から生後3年までのニホンザル乳幼児  
の知覚・認知機能の発達と身体・運動の発達につ  
いて縦断的研究が進められている。

- 3) チンパンジーの人工語の習得

室伏靖子・浅野俊夫・小嶋祥三<sup>1)</sup>  
松澤哲郎・小島哲也<sup>1)</sup>・藤田和生<sup>1)</sup>

チンパンジーの図形語の学習過程が, 物体名・  
色名に関して, 記述および読解の両面から分析さ  
れた。<sup>2)</sup>

- 4) ニホンザルの行動対比に関する研究<sup>3)</sup>

浅 野 俊 夫

多元強化スケジュールを用いて, 行動対比現象  
が検討された。

- 5) 遅延反応の行動学的, 神経心理学的, 神経生  
理学的研究<sup>4)</sup>

小 嶋 祥 三

- 1) 大学院生。

- 2) 久保田競(神経生理研究部門),  
長尾 真(京大・工学部),  
神尾昭雄(静岡大・教育学部)との共同研究。

- 3) 岩脇三良(中京大文学部)との共同研究  
(本研究所共同利用研究)。

- 4) 米国NIMHでのDr. P.S. Goldman-Rakic  
との共同研究。

空間位置の短期記憶に関係すると考えられている遅延反応を行動分析的に研究した。また、前頭前野の破壊、前頭前野のニューロン活動からも検討した。

## 総 説

- 1) 浅野俊夫(1980) : しつけの行動分析<「アメ」か「ムチ」か>。言語, 9(7), 46-52。

## 論 文

- 1) Murofusi, K. (1979) : Hemispheric difference in tilted line discrimination by split-brain monkey (*Macaca mulatta*). *Integrative control function of the brain* (M. Ito et al., eds.) 2, 401-402, Kodansha, Tokyo.
- 2) Kojima, S. (1980) : Short-term memory in the rhesus monkey: A behavioral analysis of delayed-response performance. *J. Exp. Anal. Behav.*, 33, 359-368.
- 3) Kojima, S. (1980) : Prefrontal unit activity in the monkey: Relation to visual stimuli and movements. *Exp. Neurol.*, 69, 110-123.
- 4) Kojima, T. (1979) : Discriminative stimulus context in matching-to-sample of Japanese monkeys. *Jap Psychol. Res.*, 21, 189-194.

## 報 告

- 1) 室伏靖子(1980) : 視覚学習における大脳両半球の機能、文部省科学研究費補助金特定研究「脳の統御機能」報告書(3), 337-338.
- 2) 室伏靖子, 浅野俊夫, 久保田競, 長尾 真, 神尾昭雄, 松澤哲郎, 小島哲也, 藤田和生, 小田 悟<sup>5)</sup>(1980) : チンパンジーの言語の習得とその脳内機構に関する研究。文部省科学研究費補助金一般研究(A)研究成果報告書。

## 学 会 発 表

- 1) 切断脳ザルの色見本合せ課題における左半球優位性

室 伏 靖 子

日本心理学会第43回大会  
発表論文集, 120 (1979)

- 2) チンパンジーにおける見本合せ その1: 単純選択場面の検討

室伏靖子・浅野俊夫・松澤哲郎・  
小島哲也・藤田和生・久保田競・  
長尾 真・神尾昭雄

日本心理学会第43回大会  
発表論文集, 276 (1979)

- 3) チンパンジーにおける見本合せ その2: 照合・同定場面の検討

室伏靖子・浅野俊夫・松澤哲郎・  
小島哲也・藤田和生・久保田競・  
長尾 真・神尾昭雄

日本心理学会第43回大会  
発表論文集, 277 (1979)

- 4) チンパンジーにおける視覚性言語の初期習得過程

室伏靖子・浅野俊夫・松澤哲郎・  
小島哲也・藤田和生・小田 悟・  
久保田競・長尾 真・神尾昭雄  
第24回プリマーテス研究会(1980)

- 5) ニホンザルにおける並立連鎖スケジュール。

浅野俊夫・矢口 敬

日本動物心理学会第39回大会

- 6) Evidence for feature detection in cortical auditory neurons of squirrel monkey.

D. Symmes・J.D. Newman・  
S. Kojima

9th Annual Meeting of the Society  
for Neuroscience. (1979)

- 7) 生後一年間におけるニホンザルの視知覚の発達の行動的分析

松 澤 哲 郎

第24回プリマーテス研究会(1979)

- 8) 条件性見本合わせ課題によるニホンザルの概念学習の実験的分析

藤 田 和 生

日本動物心理学会第39回大会(1979)